

第3回住宅マスタープラン改定懇談会 指摘事項対応表

日時：平成27年8月31日（月）午後14：00～17：00

場所：多摩市役所 第二庁舎会議室

箇所	指摘事項等	対応
資料3 住宅施策の 体系	・目標Ⅲについては「持続可能な住宅」や「次世代を見据えた住まいを形成する」等の文言にしてはどうか。例：次世代を見据えた改修 など	第五次総合計画の3つの柱を意識した基本目標となるよう修正する
	・目標Ⅳの課題については「維持管理」よりも「リノベーション」などの積極的に取り組む姿勢が表れるような文言にしてほしい。	課題の文言を修正する
	・目標Ⅲの「良質な」はあたりまえのことであるため、あえて入れる必要はない。また、「空き家」の施策については目標Ⅲではなく、どのように捉えるかによって位置づけが変わってくる、	基本目標及び施策体系を修正する
	・「選ぶ」「選ばれる」がキャッチフレーズであるが、うまくマッチングできるようなものが見えにくくなっている。	基本理念を修正する
資料4 住宅施策の 展開	・目標Ⅰの2は多摩の魅力を「再発信」でよいのか。	住宅施策の展開の中で再度検討する
	・目標Ⅰの3-1と3-2はあえて分ける必要があるのか。	
	・目標Ⅱの4-1は「家庭や身体状況により、自宅で生活が困難になった高齢者の住まいとして、民間によるケア付き高齢者住宅をはじめ、認知症の高齢者グループホームや特養など、身体状況にあった住まいの確保を図る」という表現がほしい。	
	・多摩ニュータウン再生方針との整合性をどのように図っていくのか。	今後議論を進めていく中で整合を図っていく
	・聖蹟桜ヶ丘周辺の土地利用についての検討という視点も入れる必要があるのではないか。	聖蹟桜ヶ丘駅周辺のまちづくりについて住宅施策の展開で位置づける
	・市民の意見や発意を支援する施策が必要であり、市民を取り込んだ仕組みづくりが必要である。	第五次総合計画の3つの柱を意識した基本目標及び住宅施策の展開に修正する
	・市民から見るとわかりにくい。市民に伝わるように努力する必要がある。市民が利用しやすい計画として欲しい。	わかりやすい計画となるよう表現などを工夫する
・URが団地内に医療拠点を整備することについて書ける範囲で位置づけてはどうか。	今後議論を進めていく中で整合を図っていく	

箇所	指摘事項等	対応
資料4 住宅施策の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・URの近居制度のみではなく、多摩ニュータウンの住棟構成を考慮すると家賃補助を組み合わせるとより効果的であるため検討してほしい。 	近居・隣居施策について重点施策化を検討する
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯に「選ばれる」ことを目指すなら、子育て支援として余裕がある保育所整備などを行い保育環境を整える方が効果的ではないか。 ・保育園については、指導要綱で開発者負担を検討してはどうか。数字の上では充足していることとなるがもう少しあってもいいと思う。 	子育て世帯に関連する施策については住宅施策の展開の中で再度検討を行う
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション管理アドバイザー・コンサルタントの派遣についてはもっとPRをしてほしい。 	重点施策については再度検討を行う
	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター設置については重点施策として位置づける必要があるのか。 	